

新時代にチャレンジ!



いずみ みちひこ
なると 鳴門市長(徳島県) 泉 理彦
Michihiko Izumi



鳴門教育大学内をチームで走る筆者(鳴門リレーマラソン)

コウノトリが選んだまち鳴門

鳴門市は、徳島県の東北部に位置し、鳴門海峡に逆巻く「渦潮」や瀬戸内海国立公園の風光明媚な景観、「四国八十八カ所霊場札所」や平成30年末の紅白歌合戦において生中継の舞台となり注目を集めている「大塚国際美術館」といった文化・観光資源を抱え、多彩な魅力を併せ持つまちです。

また、平成27年に国の天然記念物であるコウノトリが本市に飛来し、営巣活動を始めました。平成29年3月には、兵庫県豊岡市とその周辺以外では全国初となる野外繁殖を果たし、本年6月には、3年連続で雛が無事巣立ちを迎え、全国でも大きな話題として取り上げられました。

このように、コウノトリが定着できるような豊かな自然が本市には存在しており、そこで育った「レンコン」や「なると金時」な

どの農産物、あるいは、鳴門海峡の急流でもまれ、身の引き締まった「鳴門鯛」や「鳴門わかめ」などの海産物は本市が全国に誇れる自慢の特産品です。

また、本市はベートーヴェン「第九」交響曲のアジア初演の地としても有名です。第一次世界大戦の頃、本市の板東俘虜収容所のドイツ兵捕虜によって、アジアで初めて「第九」交響曲が全曲演奏されました。

その背景には、当時の板東俘虜収容所の所長であった松江豊寿をはじめとする職員が、捕虜に対して人道的な処遇を行ったことや、四国八十八カ所霊場の札所がある土地柄ゆえ、地元の方々に「お接待」を重んずる風習があったことから、捕虜と地元民との国境を越えた心温まる交流が実現したと言われています。

昨年は、「第九」アジア初演100周年という大きな節目の年となり、イベント等の開催や、世界各国からも多くの合唱団員の皆さんが参加されるなど、100周年を盛大に盛り上げることができました。今後も、ここ鳴門の地から全世界に向け、平和と友愛のメッセージを奏でたいと考えています。

猫好きのランナー

一番の趣味は猫の世話です。自由で勝手なところが大好きで、現在は自宅で1



銀次郎

匹、事務所で2匹を飼っています。他にも4匹の猫を保護しています。それぞれがをしていたり、いじめられたりしていたので、病院へ連れて行って、手術をしたり大変でしたが、みんなかわいく癒やされています。

これまでに一番長生きした猫は23年生きました。その頃、私の親も選挙に出て、私も選挙があったのですが、その猫が来てから連戦連勝で、幸運の招き猫でした。

最近、犬より猫の方が人気のように、猫好きとしてはうれしいのですが、大事なものは、どんな動物でも責任を持って最後まで面倒を見るとのこと。命を大事にするということは伝えていきたいと常々思っています。

次は、ランニングです。30歳のときに健康のために始めたのですが、今でも時



金次郎

間があるときは走っています。ホノルル・マラソンにも出場したことがあります。鳴門にはきれいな海も山もあり、走るにはうつつの場所です、ずっと鳴門でマラソン大会を開催したいと考えていたのですが、平成29年に市制施行70周年を記念して、「なると島田島ハーフマラソン大会」を開催することができました。

この大会の目玉は、鳴門海峡を臨む「美しい風景」、高低差のある「ハードなコース」、よしものお笑いタレントの皆さんによる苦しさを「笑い」に変える応援です。私は、残念ながらもまだ走れていないのですが、鳴門にしかできないマラソン大会として大切に育て、いつか走ってみたいと考えています。

サイクリングと歓喜の歌にも挑戦

また最近、しばらく乗っていなかったクロスバイクを整備しました。本市は、徳島県や兵庫県、南あわじ市と連携して「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取り組みを進めるとともに、香川県東かがわ市

とも連携して、サイクリングツーリズムを生かした地域活性化にも取り組んでおり、サイクルイベントの開催やサイクルスポットの整備も図っています。私も、天気の良い日には、自転車通勤をしようと考えています。

さらに、現在、徳島県と兵庫県が共同で『大鳴門橋おなるときょうの下部空間を生かしたサイクリングロードの整備』の実現に向けた検証を行っています。このサイクリングロードの整備と渦潮の世界遺産登録が実現すれば、世界にも類を見ない世界遺産をまたぐサイクリングが可能となります。

ハードルは高いかもしれませんが、明治・大正のころから本州と四国の間に橋を架けるといふ夢のような構想を実現してきた先人たちを見習い、夢の実現に向けチャレンジし続けたいと思います。

チャレンジといえば、もう一つ、「第九」の合唱にも挑戦します。本市では、昭和57年、鳴門市文化会館の落成を記念して「第九」演奏会が開かれて以来、毎年演奏会を開いており、今年38回目を迎えました。40回目の演奏会には、私も合唱団に参加し「全ての人間は兄弟となる」という、普遍的な人類愛を願う「歓喜の歌」を歌い上げたいと思います。

おわりに

新しい「令和」の時代が幕を開けました。令和の由来については、万葉集を出典とし、一人一人の日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いが込められています。私も、新時代を迎え、過去にとらわれることなく、積極果敢にチャレンジし、鳴門の未来に大輪の花を咲かせたいとの決意を新たにしています。



世界遺産をまたぐサイクリングロード整備実現を願う